

閉会の辞

高橋悦子

特定非営利活動法人日本ペルー共生協会副会長

高橋報告の「虹の架け橋教室」とAJAPEのこれまで」の「3. 虹の架け橋教室の課題」をもう一度見ていただきたいと思います。

「虹の架け橋教室」事業やAJAPEがこれまで行ってきた活動について、なるべくたくさんの方に知っていただきたいと思いますという思いを込め、今回のフォーラムを企画いたしました。「架け橋教室」事業が終了しても、支援を必要とする子どもがいなくなるわけではありません。委託事業を運営してきた団体はそれぞれノウハウを蓄積してきていますので、そのノウハウを消失させずに、引き続き活用できる方法はないだろうかということ強く感じます。

教育委員会や学校では難しい支援があり、私たち地域の団体が手を貸せるのではないか、地域の団体が引き続き担うことはできないだろうかということを考えます。皆さんも一緒に子どもたちの現在、将来を考えていただきながら、是非この次のプロジェクトに声を上げていただけたらと思います。

本日はお足元の悪い中、御参席いただきまして、どうもありがとうございました。

<資料1>

AJAPEの活動、外国人児童生徒の日本語指導についてのアンケート結果

対象:大和市立小中学校 実施期間:2014/7/1-8/8

小学校 (回答総数 23名)

項目		/23				
1	1) 教職経験	1年未満		0		
		1年～3年		1		
		3年以上		22		
		無記入		0		
	2) 子どもとの関わり	1年未満		5		
		1年～3年		6		
		3年以上		10		
		無記入		2		
2	1) 現在関わっている子どもの数	0名		2		
		5名以下		3		
		6～9名		2		
		10～19名		9		
		20～29名		0		
		30～39名		6		
	2) どこで(複数回答)	在籍級		8		「他の児童と同様に」(関わっている児童数、1名)
		国際教室		16		
		その他		3		「国際教室がないため、国際教育担当がコーディネートしている」(関わっている児童数、6名) 「日本語指導や通訳等の手続き窓口として」(同、3名)
	3) 関わり方(延べ)	日本語指導	日本語教材	7		学校教員が日本語指導をしていない:2名 「国際化協会の日本語指導」、「ボランティアへの連絡」、 「日本語指導員及び国際化協会のボランティアの方にお問い合わせ」、 「他の児童と同様」
			自作プリント	12		
			国語教科書	15		
その他			4	自作カード、くもん教材、市販プリント		
教科		教科名	17	国語(13名)、算数(16名)、社会(3名)		
		自作プリント	9			
		教科書	15			
		その他	0		カード、各学年問題集	
その他				・児童同士のトラブル、心のケア(家族、兄弟姉妹、友だちのこと)、話を聞いてあげる、親が子どもの日本語を理解できず悩む。日本で生まれたので母語がわからない。 ・担任の見方と保護者の考えなどを聞きながら、日本語個別指導の計画を立てている。		
4) 関わる上で必要なこと(別記)						
4	AJAPEを知っている			21		
		架け橋教室		18		
		教科指導		14		
		プレスクール		15		
		読み聞かせ		3		
		バイリンガル養成		2		
		その他		0		
	知らない			2		

<資料1>

AJAPEの活動、外国人児童生徒の日本語指導についてのアンケート結果

対象: 大和市立小中学校 実施期間: 2014/7/1-8/8

小学校 (回答総数 23名)

項目		/23			
5	AJAPEが文科省・IOM委託を受けていることを知っている	16			
	知らない	7			
6	学習報告書を見たことがある	14			
	どのように	役に立つ		14	
					<ul style="list-style-type: none"> ・個別面談時に使用 ・日常の学習と生活の支援(4名) ・昨年度のひきつぎ ・現在学習した事や児童の実態が分かり、支援に役立てられた。 ・子どもの実態(日本語能力)がわかり、次なる指導にとでも役立った。 ・以前フィリピンの児童がAJAPEでお世話になった後、本校に転入してきた。その際、学習進度などが詳しく書かれていたので役立った。 ・学校での学習指導をどこから行うべきかの指標に使ったり、保護者の方との面談の資料に使った。 ・児童、保護者の地域社会との交流促進が難しい中、計画実践されていることがわかった。 ・各児童の既習内容を知ることで今後の学習や関わり方の方向性が見えてくる。 ・各担任が目を通し、教科指導や学習支援に役立てた。
		役立たない		0	
見たことがない	9				
7	AJAPE教室が閉室することについて(別記)				
8	「特別の教育課程」を知っている	はい	8		
		不安がある	6		
	指導方法	4			
	指導計画	5			
	学習評価	7			
	その他	1	研修を受けて実際に使えるようにしたいのだが、やり方がわからない。		
	不安はない	1			
	知らない	15			
9	専門的なことを聞ける機関がある	はい	19		
		どのような(複数)		国際化協会:14名、教育委員会・指導室:5名、AJAPE:3名、日本語指導の先生、教育相談員、ことばの教室のコーディネーター、エドベンチャー、アースプラザ(各 1名) *「指導室・国際化協会」と回答した教員:「ただし、年々該当児童が増えているようなので、相談しにくくなっている。」	
	ない	2			
10	今後子どもに必要な機関について(別記)				

<資料1>

AJAPEの活動、外国人児童生徒の日本語指導についてのアンケート結果

対象:大和市立小中学校 実施期間:2014/7/1-8/8

中学校 (回答総数 13名)

項目		/13			
1	1) 教職経験	1年未満		0	
		1年～3年		4	
		3年以上		8	
		無記入		1	
	2) 子どもとの関わり	1年未満		2	
		1年～3年		4	
		3年以上		6	
		無記入		1	
2	1) 現在関わっている子どもの数	0名		1	
		5名以下		2	
		6～9名		3	
		10～19名		4	
		20～29名		3	
		30～39名		0	
	2) どこで(複数回答)	在籍級			
国際教室				10	
その他					「国際担当として」(関わっている生徒数、1名) 「学年の国際担当として」(同、11名) 「日本語教室に案内」(同、16名)
3) 関わり方(延べ)	日本語指導	日本語教材		2	・「日本語指導の先生が来て指導。各教科の説明をしながら日本語の指導を行っている」(生徒、10名)
		自作プリント		5	
		国語教科書		4	
		その他			
	教科	教科名		10	国語(3名)、数学(7名)、英語(5名)、社会(1名)、理科(1名)、家庭科(1名)
		自作プリント		4	教科を指導している教員は1名を除き教科書を使用。この1名は数学で「問題集、教科プリント」。
		教科書		10	
		その他		3	「教科担当が作成したプリント」、問題集、「7-7」
	その他			3	・生活指導 ・生活指導(進路指導)等。 ・放課後等に教室での説明の補佐をする(行事、学活等)。
	4) 関わる上で必要なこと(別記)				
4	AJAPEを知っている			12	
		架け橋教室		12	
		教科指導		10	
		プレスクール		3	
		読み聞かせ		0	
		バイリンガル養成		0	
		その他		0	
	知らない			1	

<資料1>

AJAPEの活動、外国人児童生徒の日本語指導についてのアンケート結果

対象: 大和市長小中学校 実施期間: 2014/7/1-8/8

中学校 (回答総数 13名)

項目			/13		
5	AJAPEが文科省・IOM委託を受けていることを知っている		9	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の能力や学習理解度がわかった。 ・出席状況、学習理解度。 ・日本語の習熟レベル(様子)が良くわかった。 アハペとの連携がスムーズにできた。 ・日本語が不十分な生徒の日本語、漢字のサポートをして頂いた際、学校側がどのようなサポートを引き続きできるかや、本人の日本語の力がどのくらいかを知ることができ、学校での指導の方向性を決めるのに役立った。 ・生徒が日本語や教科の勉強をどの程度わかっているのかを把握することができ、学校側からの支援体制を整えやすかった。 ・担当の先生を通じて。 	
	知らない		3		
6	学習報告書を見たことがある		7		
	役に立つ		7		
		どのように			
	役立たない		0		
見たことがない			6		
7	AJAPE教室が閉室することについて(別記)				
8	「特別の教育課程」を知っている	はい	3		
		不安がある	2		
	指導方法	2			
	指導計画	1			
	学習評価	1			
	その他	1			
	不安はない	2			
知らない		10			
9	専門的なことを聞ける機関がある	はい	9		
		どのような(複数)			
	ない		4		
10	今後子どもに必要な機関について(別記)				

2-4) 外国人児童生徒に関わる上で必要なことは何だとお考えですか。

小学校

1	教育愛。落ち着いて学習することができる場所であり、(集団でおいたてられるような学習ではなく)安心できる場所、学校の中のお家であるような国際級にしたいと思っています。
2	各国の文化を大切にし、児童や保護者に寄り添い、日本語の学習を進め、学校生活を快適に過ごせるよう支援する。
3	日常生活に困らない日本語力を身につけるとともに、母国語も大事にしてほしい(家庭でのコミュニケーションをとるため大事な力)
4	文化の違いを理解した上で、日本文化を教えていくこと。ただし、人権は尊重していくよう気をつけること。
5	保護者・学年担任との連携と協力。
6	学年担任・保護者との連携・協力。
7	学年担任・保護者との連携・協力。
8	学年担任・保護者との連携・協力。
9	児童の実態把握と親のねがい。
10	なぜ日本に来ているのか、どのくらいの期間日本にいるのかなど、その児童のおかれている状況を知ること。
11	できるようになったことを必ず認め励ますこと。
12	友だちとの関わりを多くもたせたいので、そのために学校での日常生活やルール、マナーなどを伝えていくこと。
13	児童の日本語環境を知る。日本の文化(行事)を伝え、生活上のルールを教える。
14	相手の母国の文化や習慣を尊重し、その上で日本で生活するために必要な文化や習慣を伝えていくことなど、一方的に日本を押しつけるのではなく、相互理解の上で関係をつくっていくことが必要。
15	・わかりやすくていねいな日本語を使って話をする。 ・わからないことや困ったことがある時はすぐに対応できるようにする。
16	母国の言語や習慣を大切にすることだと思います。
17	国の違い、文化の違いを当たり前のこととして他の児童に伝えること。
18	日本語の能力を把握し、その子に合った学習を行う。

中学校

1	母国の習慣を理解しながら、日本の理解を深めさせ生活に生かしていく。
2	・日本と諸外国との文化などの違いを理解し対応すること。 ・学習、生活、そして社会生活の適応力が培われるよう学級、学校で支援すること。 ・職員はもちろん関係機関との連携を図り、必要に応じた的確な指導を行うこと。
3	背景を理解すること。
4	生徒理解と共に成育歴や家庭環境の把握。
5	その生徒の側に立って考える。
6	児童生徒の日本語の力、学校での勉強内容の把握、学習や日本語のサポート。 生徒の家庭環境の把握と各国文化の理解、父母の日本語サポートや日本の学校生活を理解してもらうことなど。
7	その生徒の日本語や勉強の習熟度の把握。 家庭環境や困っていることなどへの理解。
8	・日本と諸外国とでは、考え方や文化などに違いがあることを理解し、尊重すること。 ・関係機関との連携を図り、適切に指導すること。 ・学習面や生活面だけでなく、社会生活に適応できるように指導すること。
9	生徒の実態を知り、何が必要なことなのかをはあくすること。
10	その生徒が学習内容をどのくらい理解しているのか
11	極力日本語で伝える。授業中はお客様にならないよう、周囲に与えた指示を伝える(英語で)。

7 「架け橋教室」プロジェクトが2014年度で終わり、AJAPE大和教室も閉じられます。ご意見をお聞かせください。

小学校

1	参考になる日本語指導をして頂き、とても感謝していますが、今後はとても不安です。月2回来て頂く日本語指導の先生と相談しながら頑張りたいと思います。
2	報告書を見ていないのでよくわかりませんが、公立学校へつなげるところの役割を果たす機関がまだ必要ではないかと思う。
3	このプロジェクトが果たした役割は大きいと思います。何らかの形で支援を続けてほしいと思います。
4	外国籍児童にとっては、心の拠りどころになっています。また、「架け橋教室」で教科指導して頂くことで、学校に戻ってきた時に自信につながっている。
5	日本語や日本の文化にまだまだ慣れていない児童が、小学校の生活だけで日本語等を習得できるとは思いません。やはり、日本語を指導する専門の場所が必要だと思います。
6	是非、存続させてほしい。
7	是非、存続させてほしい。
8	存続してほしい。
9	是非、存続させて欲しい。
10	全く日本語のわからない子どもが突然学校に来た時、1日中指導できる時間的保証もなく、最初の大切な3ヶ月を無駄に過ごしてしまい、学習についていけなくなるので、とても困ります。
11	「架け橋教室」プロジェクト・AJAPE大和教室は、小中学生の日本語指導に大変役立っています。また、世界につながる児童・保護者の支援にも大きな役割を果たしており、今後もぜひ続けてほしい。
12	とても残念に思います。支援を必要とする子どもたちがいなくなるわけではありません。
13	AJAPEが支えになっていた児童、保護者が数多くいると思うと、とても残念です。
14	アハペに通っているおかげで日本語を早く習得できた子たちがこの学校に何人もいます。外国籍児童がふえるであろうこれからこそAJAPEは必要です。来年度もぜひ開講してください。お願いします。
15	日本語ゼロ児童がいきなり全く言葉のわからない学校に来るとするのは相当なストレスがあると思います。また、学校側がその子につきっきりで指導者をつけることもなかなか難しいと考えます。日本語、そして学力を身につけ、将来日本や母国のために働ける人材を育成するためには、学校だけでは不十分です。AJAPEの「架け橋教室」と学校が連携していくことが必要です。再び「架け橋教室」が再開されることを心待ちにしています。
16	外国人児童生徒を支えられて来た協会が減ることが残念です。
17	とても残念に思う。4月から週5日通っていた児童が最近めざましく上達し、アハペでの下地が効果的にあらわれてきた証拠です。
18	日本語指導が必要な児童や日本語について不安をかかえる保護者が増える中、こういった教室を増やしていただきたいくらいなのに終了というのはとても残念です。
19	不便を感じる児童が出るのではないかと思います。
20	勉強不足のため、特にありません。
21	継続が望ましいと思う

7 「架け橋教室」プロジェクトが2014年度で終わり、AJAPE大和教室も閉じられます。ご意見をお聞かせください。

中学校

1	必要だと思います。是非継続できるように働きかけをしてほしいと思います。
2	「残念」としか言いようがありません。ぜひAJAPEのような「架け橋教室」を子どもたちの為に開設してほしいと願っています。
3	お世話になった生徒がいるので残念です。
4	支援を必要とする子供たちが多くいる中、AJAPEが終わるのはとても残念です。それにかわる政策はあるのでしょうか？
5	外国籍の生徒にとって、AJAPEが必要であると感じます。学校の教師では出来ない事がたくさんあると感じます。かまえてしまう子、自分を出せない子がいます。
6	日本語が話せない生徒が外国から転校してきた場合、学校現場としては日本語指導は難しい。やはり言葉(その国の)ができる人が日本語を教えてくれることで、生徒自身日本語を身につけることが早くできると思う。また、日本語が話せない生徒は、見知らぬ土地、環境で大変なストレスを感じると思う。日本語や学習支援だけでなく、たくさんのストレスや不安からも、心の支えになる場所として外国籍児童生徒にはAJAPEは大切であったと思う。閉じられる事は本当に残念でならない。外国籍の児童生徒が安心して学べる場として残してほしい。
7	とても残念です。日本語やその土地、習慣に不慣れな人間にとってAJAPEでの勉強等は心の支えになっていたと思います。学校側ではなかなかできない日本語の指導も、本格的にしてくださっていたので本当に残してほしいという気持ちでいっぱいです。
8	困ります。子どもたちのために「架け橋教室」のようなプロジェクトをしていただきたいです。
9	本当にこまります!! 機関は残してほしいです。少しでも不安をけしたい思いです。
10	できれば継続し、支援をしていただきたいです。
11	私が担当しているクラスにAJAPEにお世話になっている生徒がいます。彼女はAJAPEを楽しみにしているし、どんなことを勉強したか教えてくれます。同じ境遇の子と切磋琢磨することは、とても重要なことだと感じます。

10 今後外国の子どもの指導に関してどのような機関があればいいと思われませんか。

小学校

1	教職について4年目です。本学校は外国籍の児童が少なく、全校で2名ほどで、担任を持ったことがありません。しかし、これから外国籍の児童との関わりも増えると思うので、勉強していかなくてはと思っています。アンケート、参考にならないかもしれませんが…。よろしくお願いします。
2	夏休み、冬休みなどで、学校の宿題や遅れている学習、もちろん、日本語の指導をしてくれる機関、母国語で、今悩んでいることがあれば聞いてもらえる機関
3	母語や自国文化の継承等、児童の発達に必要な指導が学校では保障できない。この部分を指導・支援でき、学校教育とも連携していける教育機関が必要だと思う。
4	子ども一人ひとりで指導内容やニーズが違うと思うので、一人ひとりに合った対応が迅速に行われる機関。子どもだけでなく、その子どもの背景にある家庭(保護者)にも悩み、相談事があるかと思うので、その部分のサポートもできる体制があると良いと思う。
5	外国の子どもの先も増えていくと思われま。その子どもたちが、うまく日本の学校に順応するためにサポートして頂く必要があります。教科以外にも生活面や父兄の相談にのっていただきたいので、AJAPEの閉鎖は非常に困ります。
6	「架け橋教室」のような機関があれば、児童もその保護者も救われると思います。
7	通訳の人数が不足しているので、増やしてほしい。
8	通訳の先生の人数が減ってきているように思われる。また通訳できる国がないところもあるので、通訳の先生の人数確保を是非おねがいしたい。
9	通訳の人数が足りないことがある。また予算も少ないのか、十分には来てもらえないこともある。人も予算も増やしてほしい。
10	通訳の指導が足りないので増やして欲しい。また予算も少ないので十分には来て貰えないので、人も予算も増やしてほしい。
11	Ajapeさんの「架け橋教室」の継続。
12	外国の家族で日本語を学べたり、相談できる場所や機関があると良いと思う。
13	夏休み等、長い休みの折の宿題や自由研究の相談等できる場所を作っていただきたい。申し込み方法を説明するのがとても大変です。もう少し簡単にさせていただけるとありがたいです。
14	就学前に日本の学校のしきたりやルール、教科書を使った学習などを進めてくださるAJAPEのような機関があれば、教師も外国人児童とその保護者にとっても助かると思います。
15	日本語指導の専門家に指導していただける機関はとても重要です。1年生の教科書でも学習しないような時間の読み方、月日の読み方などについて教えていただける機関や資料を提供していただける機関が今後あることを強く望みます。
16	子どもの指導を行う上で、保護者の方の日本理解をすすめることは必要であると考えます。子どもに学力を日本で身につけさせるために学校のこと、進学のことについて指導して頂ける機関があるといいなと思います。
17	日本語指導、教科指導の支援。子どもと保護者の相談機関。
18	アハペのように、まったく日本語ができない児童に対して集中的に指導をしてくれる機関が是非とも必要だと思う。まったくわからない状態で学校にいても無駄な時間を過ごすだけである。国際級でそういう児童に対してかかりきりになるのはなかなかむずかしい。
19	入学前の家庭環境や日本語習熟レベルなどの状況を学校に知らせてほしい。プレスクールと市教委で連携をはかっていたら良いと思う。
20	困っていることを気軽に相談できる人や場所があると良いと思います。
21	本校は外国につながる児童が少なく、国際級も設置しておりません。しかし、今後はそのような児童も増えてくると思われま。受入れる際にどのような準備が必要なのか知る必要があると感じています。ご質問の答えになっておらず、すみません。
22	・日本語が学べる ・母語が学べる

10 今後外国の子どもの指導に関してどのような機関があればいいと思われませんか。

中学校

23	AJAPEのような就学支援して下さる機関が必要と思います。
24	教科指導をしてくれる機関。
25	・無料。近くで日本語や教科指導をしていただける機関。 ・心のよりどころになる相談機関。
26	小学校から中学校の引き継ぎで、その生徒の実態が伝わってこない。プライバシーの問題があり、中学校入学してから調べている。国際教室で指導していた生徒を国際教室で指導しているが、それ以外の生徒の中でも必要な生徒がいる。
27	AJAPEみたいなところがあればいい!! 日本語指導はもちろんですが、 <u>子供たちが安心して勉強できる機関。</u> ・言葉が話せない生徒 ・言葉のおくれのために勉強が遅れている生徒 ・家庭環境のため勉強することが困難な生徒 ・勉強したいが、外国籍ということコンプレックスやいじめられた経験があり学校へ通う事が困難になった生徒
28	AJAPEのような場所。日本で生活、学習していく子どもたちにとって、安心して学ぶことができる機関がぜひあってほしいと思います。
29	AJAPEのような就学支援をしていただける機関が必要だと思います。
30	受験に対応するための勉強のアドバイスのきかい、きかん。
31	日本語の指導。進路指導。
32	その子のレベルに合った日本語の積み重ねをおしえて頂ける機関があれば、活用できるのではないのでしょうか。

<資料2>

神奈川県内の外国人人口(2010年度)
Población de Kanagawa (2010)

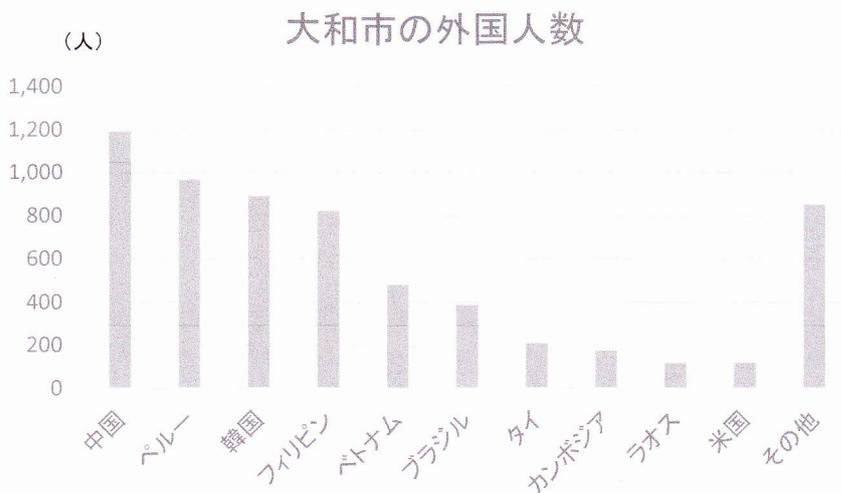
総務省統計局
「平成22年度国勢調査」より
(国勢調査は5年ごとに実施)

市区町村	人口総数 (人)	15歳未満 人口 (人)	15~64歳 人口 (人)	65歳以上 人口 (人)	外国人 人口 (人)	外国人比率 P de personas extranjeras (%)
神奈川県 Kanagawa	9,048,331	1,187,743	5,988,857	1,819,503	125,686	1.39
横浜市 Yokohama	3,688,773	486,262	2,440,385	736,216	53,029	1.44
川崎市 Kawasaki	1,425,512	185,571	988,540	237,298	26,502	1.86
相模原市 Sagami-hara	717,544	93,750	481,281	138,094	7,901	1.1
横須賀市 Yokosuka	418,325	51,670	261,078	105,576	2,790	0.67
平塚市 Hiratsuka	260,780	34,513	171,018	55,159	3,351	1.28
鎌倉市 Kamakura	174,314	20,944	105,184	48,108	1,114	0.64
藤沢市 Fujisawa	409,657	56,633	271,709	81,310	3,972	0.97
小田原市 Odawara	198,327	25,357	125,796	46,471	1,863	0.94
茅ヶ崎市 Chigasaki	235,081	32,813	151,477	50,189	1,192	0.5
逗子市 Zushi	58,302	7,147	34,903	16,249	377	0.65
三浦市 Miura	48,352	5,132	28,953	14,238	192	0.4
秦野市 Hadano	170,145	21,281	113,277	34,575	2,756	1.62
厚木市 Atsugi	224,420	30,734	152,804	40,201	4,107	1.83
大和市 Yamato	228,186	30,352	151,380	43,610	4,612	2.02
伊勢原市 Isehara	101,039	13,785	67,245	19,824	1,205	1.12
海老名市 Ebina	127,707	18,215	85,167	23,964	1,803	1.41
座間市 Zama	129,436	16,912	86,940	24,906	2,006	1.55
南足柄市 Minamiashiga	44,020	6,032	27,310	10,651	262	0.6
綾瀬市 Ayase	83,167	11,972	53,854	17,238	2,891	3.48
葉山町 Hayama-machi	32,766	4,476	19,338	8,949	196	0.6
寒川町 Samukawa	47,672	6,643	31,410	9,527	514	1.08
大磯町 Oiso	33,032	4,051	20,150	8,810	109	0.33
二宮町 Ninomiya	29,522	3,552	17,979	7,967	128	0.43
中井町 Nakai	10,010	1,270	6,295	2,439	86	0.86
大井町 Ooi	17,972	2,922	11,500	3,550	70	0.39
松田町 Matsuda	11,676	1,255	7,285	3,118	44	0.38
山北町 Yamakita	11,764	1,202	7,237	3,325	62	0.53
開成町 Kaisei	16,369	2,629	10,217	3,518	106	0.65
箱根町 Hakone	13,853	1,131	8,757	3,828	124	0.9
真鶴町 Manazuru	8,212	733	4,782	2,697	52	0.63
湯河原町 Yugawara	26,848	2,846	15,256	8,722	250	0.93
愛川町 Aikawa	42,089	5,596	28,125	8,305	1,998	4.75
清川村 Kiyokawa	3,459	362	2,225	871	22	0.64

<資料3>

大和市外国人登録者数(2011年4月1日現在)

	国名	人数(人)
1	中国	1,190
2	ペルー	965
3	韓国	887
4	フィリピン	821
5	ベトナム	480
6	ブラジル	388
7	タイ	207
8	カンボジア	173
9	ラオス	116
10	米国	116
11	その他	850
	計	6193



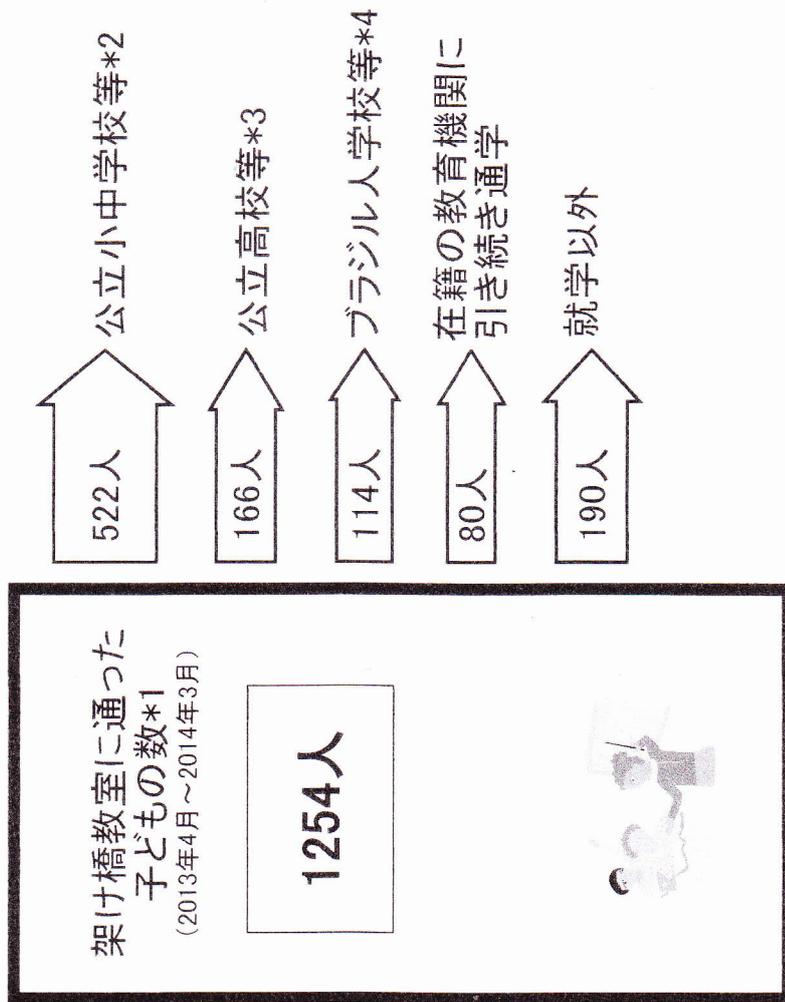
大和市外国人市民比率の経年変化(いずれも4月)

年	人口 (人)	外国人数 (人)	比率 (%)
1989	183647	1533	0.83
1990	190188	1997	1.05
1995	200021	3826	1.91
2000	207859	4535	2.18
2005	215854	6296	2.92
2008	219034	6572	3.00
2009	219857	6575	2.99
2010	222640	6357	2.86

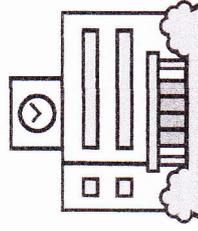
出典:「やまと国際交流指針」(大和市文化スポーツ部国際・男女共同参画課、2011年4月発行)

2013年度「虹の架け橋教室」成果（就学実績）

● 架け橋教室に通った子どもの進路の状況



通った子どもの数	積算対象の子ども	参加可能な子ども*5
就学 公立小中学校等 公立高校等 ブラジル人学校等	940	132
在籍の教育機関に引き続き通学	-	80
就学以外 国内転居 帰国 就労 不就学・不登校 不明 その他	34 62 42 3 14 16	6 4 5 0 0 4



*1) 2013年度に入室したが年度内に退室せず2014年度も引き続き教室に通う子どもがいるため、退室者の総数(1072人)は通った子どもの総数(1254人)と一致しない。

*2) 私立の一条校を含む。

*3) 公立・私立の全日制高校、定時制高校、通信制高校、専修学校等を含む。

*4) ペルー人学校、インターナショナルスクール等を含む。

*5) 本事業の対象の子どもの区分(d-1)に関しては、積算対象であるが、就学実績の二重カウントを避けるため、本集計においては「参加可能な子ども」の人数に含まれている。(d-1)の子どもを含めた積算対象の子どもの参加人数は1185人となる。

「定住外国人の子どもの就学支援事業」
2009-2013年度 数値まとめ

2014年7月作成

(1)採択件数(単位:件)

2009年度	34
2010年度	42
2011年度	39
2012年度	23
2013年度	21

(2)参加人数・言語別内訳(単位:人、%)

	参加人数	言語別内訳									
		ポルトガル語		スペイン語		中国語		タガログ語		その他	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
2009年度	1,251	867	69.3%	148	11.8%	44	3.5%	46	3.7%	146	11.7%
2010年度	2,436	1,829	75.1%	227	9.3%	90	3.7%	221	9.1%	69	2.8%
2011年度	1,444	920	63.7%	136	9.4%	88	6.1%	208	14.4%	92	6.4%
2012年度	1,164	483	41.5%	181	15.5%	120	10.3%	298	25.6%	82	7.0%
2013年度	1,254	445	35.5%	156	12.4%	158	12.6%	412	32.9%	83	6.6%

(3)就学実績(単位:人)

	総数	就学先内訳		
		公立小中学校等 ^[2]	公立高校等 ^[3]	ブラジル人学校等 ^[4]
2009年度 ^[1]	162	50	10	102
2010年度	917	381	79	457
2011年度	927	386	77	464
2012年度	635	355	113	167
2013年度	802	522	166	114

[1] 2009年度は2回の公募を行っており、委託期間は採択時期により3ヶ月～半年。委託期間が短いため、就学実績も少なくなっている。

[2] 私立の1学校含む。

[3] 公立・私立の全日制高校、定時制高校、通信制高校、専修学校等を含む。

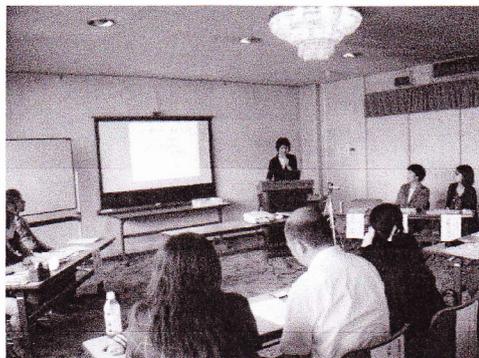
[4] ベルギー人学校、インターナショナルスクール等を含む。

AJAPE 第8回教育フォーラム
—「虹の架け橋教室」過去・現在・未来—

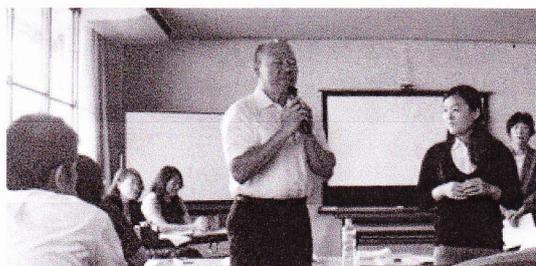
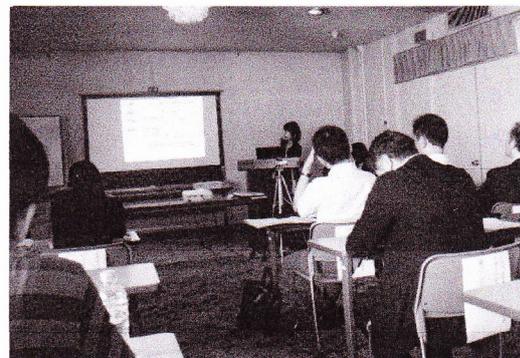
フォーラム会場にて



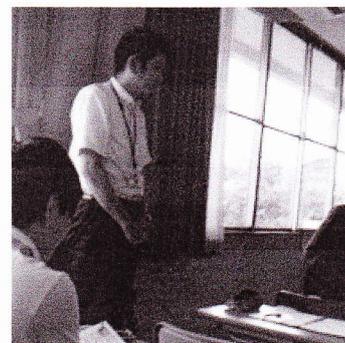
東京外大教授 伊東祐郎氏



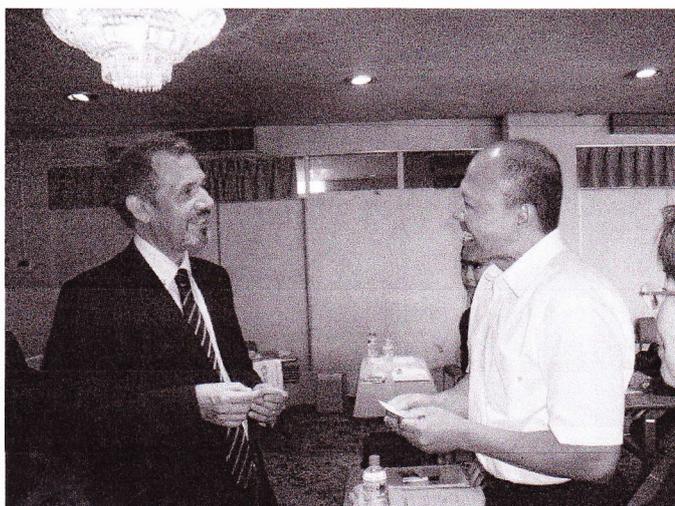
AJAPE 報告



左：国際移住機関駐日代表 ウィリアム・バリガ氏
右：同 就学支援事業担当 山野上麻衣氏



大和市役所指導室指導主事
清水恭氏



左：ペルー大使館公使参事官
マルコ・サンティバニユス氏
右：国際移住機関駐日代表
ウィリアム・バリガ氏

AJAPE 第 8 回教育フォーラム

—「虹の架け橋教室」過去・現在・未来— 報告書

発行日	2014 年 9 月 1 日
編集	高野菜穂子・高橋悦子・矢沢悦子
編集協力	大場尚子・羅朝子
発行	特定非営利活動法人日本ペルー共生協会 〒194-0012 町田市金森 5-12-1 TEL 090-7834-6653 ajape@jcom.home.ne.jp